第1部 基本的方向(コンテンツビジネス振興を国家戦略の柱に)

日本のコンテンツビジネスの現状

コンテンツ:世界的に人気、総じて高い評価 ビジネス:コンテンツの良さを十分活かしきれていない

欧州各国の手厚い振興策 韓国・中国の追い上げ (国策としてテコ入れ)

米国のひとり勝ち

コンテンツは国の重要分野

産業として重要 市場規模大(我が国では11兆円) 他産業への波及効果 海外での 国家イメージ向上 にとって重要

「コンテンツビジネス振興」を国家戦略の柱に

我が国のコンテンツビジネスの課題は

一層の近代化・合理化 社会をリードするビジネスへ 多面的にビジネス展開

3ヵ年集中改革の実施で課題を達成コンテンツビジネスの規模を上昇傾向へ

第2部 集中改革の具体策(3つの目標と10の改革)

目標1

資金、人材、技術等 ビジネスの基盤を整備し、 業界の近代化・合理化を さらに進める 改革1 業界の近代化・合理化の支援 ~ チャンスが光る業界へ~

改革2 資金調達手段の多様化 ~ 豊富な資金でビジネスチャンス~

改革3 コンテンツ制作等へのインセンティブの付与

~ ビジネス展開を側面サポート~

改革4 人材育成の強化 ~ 「ひと」がビジネスを変える~

改革5 新技術の研究開発等の支援、普及

~ テクノロジーがビジネスを変える~

改革6 人材の発掘と顕彰 ~ もっと探そうコンテンツ人材~

改革7 教育・啓発の充実 ~ もっと知ろうコンテンツ~

目標2

活躍する者に光をあて、 社会をリードする ビジネスを目指す

目標B

海外、新分野の ビジネス等を 大きく展開する 改革8 海外展開の拡大と海賊版対策の強化

~ アジアへ、そして世界へ~

改革9 ブロードバンドなどによる事業展開の推進

~ もっと便利におもしろ(~

改革10 地域等の魅力あるコンテンツの保存・発信強化

~ ニッポン全国コンテンツで豊かに~

第3部 今後のコンテンツビジネス振興に向けて

5つの理念のもと、振興政策の一層の充実を図る

All Japan すべての関係者の連携・協力

Brand Japan 日本プランドの向上、海外市場戦略

Cool Japan "カッコイイ"日本へ

Digital Japan デジタル化・プロードバンド化に対応

leading-Edge Tech Japan 先端技術の開発・活用を推進

- 1 「集中改革」の 知的財産推進計画への反映
- 2 調査研究・広報の推進
- 3 関係者一体となった 取組の推進
- 4 今後の検討の方向性 ~「21世紀型コンテンツ」など 幅広い分野の検討~